



## 深谷シネマ（七ツ梅酒造跡：深谷市）

2014年8月 訪問  
埼玉モダンたてもの学生レポーター  
青山学院大学文学部 丸谷 奈央



深谷シネマは「街づくりの中に映画文化を取り入れたい」との思いから構想が行われ、2002年、深谷市のさくら銀行跡に開館。後に区画整理の影響で、映画館にふさわしい現在の場所に移転しました。

収容人数約60人ほどの小さな劇場。総勢5人のスタッフが運営しています。上映する作品は、シネコンと棲み分けして、お客様のアンケートをもとに決めているのだとか。

「市民のための映画館」がコンセプトの深谷シネマ。街のコミュニティシネマとして、シネコンと共存しさまざまな映画を提供することが目標だそうです。

七ツ梅酒造の跡地の一番奥にある蔵が深谷シネマ。入り口は昔の面影あふれる佇まいです。



七ツ梅酒造跡にはカフェや古本屋、さらには鬼瓦の工房まで。まさに「生活街」といった印象です。



劇場の正面にあるこちらの蔵は、映画のロケやライブホールとして使われています。木造の建物の内部は、音の響きがとても良いのだとか。取材に伺った際も、撮影用のセットが組まれていました。



### ここに注目！

施設内を見回してみると、味のある看板の数々が。なかには英語のものや、手書きのものも。ぜひ隅々まで、チェックしてみてください。